

平成24年行政事業レビューシート

(総務省)

事業名	チャレンジ向け通信・放送役務の提供、開発等の推進		担当部局庁	情報流通行政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～		担当課室	情報通信利用促進課		課長 佐藤 安紀		
会計区分	一般会計		施策名	V-2 情報通信技術高度活用の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	身体障害者の利便の増進に資する通信・放送身体障害者利用円滑化事業の推進に関する法律(平成5年法律第54号)第2条第4項第1号、第4条第1号及び第2号、第5条第1項		関係する計画、通知等	障害者基本計画(平成14年12月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国におけるICT利用が急速に進展する中で、身体的な条件により、ICTの利用機会及び活用能力に格差が生じないよう、情報バリアフリー環境を整備する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「身体障害者の利便の増進に資する通信・放送身体障害者利用円滑化事業の推進に関する法律」に基づき、独立行政法人情報通信研究機構(以下「NICT」という。)が、通信・放送身体障害者利用円滑化事業(※)に該当する通信・放送役務の提供又は開発を行う者に対し、その実施に必要な資金の2分の1を上限として助成を行うほか、通信・放送身体障害者利用円滑化事業に関連する情報提供業務を実施。 (※) 身体上の条件のため通信・放送役務を利用するのに支障のある者が当該通信・放送役務を円滑に利用できるようにするためのもの。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	80	80	71	71	72	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計	80	80	71	71	72		
	執行額	57	57	68				
執行率(%)	71.3%	71.3%	95.8%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (23～27年度)
	助成終了後2年経過時の事業継続率を70%以上。 (従来60%の目標値を、平成23年度より70%へ上方修正)			%	87.7%	-	-	70%
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	助成事業者数				7	8 (-)	7 (-)	- (7)
単位当たりコスト	7,743 (千円/件)		算出根拠	平成21年度から23年度までの助成実績額総額(執行額総額の内、助成対象経費分)と、助成件数総数を元に、1件あたりの平均助成額を算出。 助成実績額総額:170百万円 助成件数総数:22件 (単位当たりコスト)=(助成実績額総額)÷(助成件数総数)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	情報通信利用促進支援事業費補助金	71.3	71.7					
	計	71	72					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、身体的な条件によりICTの利用機会及び活用能力に格差が生じないように情報バリアフリー環境の整備を行うことを目的としており、障害者基本計画が取り組むべき障害者施策として情報のバリアフリー化を掲げていることから優先度の高い事業と言える。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業の助成対象事業については、公募により提案された事業を、外部の有識者で構成された評価委員会からの公正かつ客観的な評価に基づいて採択されている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業の目標として、助成終了後2年経過時の事業継続率を70%以上掲げており、平成23年度末において、事業継続率は87.7%となっており、目標を十分に達成している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>H22年度より、予算の適切な執行を図るために、案件採択時の評価委員会において提案者から直接事業内容の説明を受けるとともに、障害者の具体的な需要を示す客観的なデータなどの提出を求め評価を実施、また、事業者のより適正な事業の執行をサポートするため、相談窓口を設け、助成事業者の事業運営に関する相談体制を整備している。</p> <p>結果として、H23年度の執行率は、95.8%と大きく改善され、実効性が認められることから、引き続き、交付先事業者の事業計画等の監督を実施し、予算の適切な執行を図る。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	統合した「通信・放送分野における情報バリアフリー促進支援事業」の中で、更なる経費の効率化を図るべき		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	引き続き、交付先事業者の事業計画等の監督を実施し、予算の適切な執行を図る。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>平成22年度行政事業レビュー公開プロセス</p> <p>結果：一層の改善が必要</p> <p>【とりまとめコメント】</p> <p>○いろいろご指摘があり、一層の改善をお願いしたい</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0068	平成23年行政事業レビュー	0068

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

総務省
68 百万円

〔チャレンジド向け通信・放送役務の
提供、開発等の推進〕

【補助】

A. NICT
65百万円

〔助成金交付事務(事務手続、
評価委員会の開催、検査等)〕

【公募・補助】

B. 民間企業、NPO(7社)
64百万円

〔身体チャレンジド向け通信・放送
役務の提供、又は開発〕

【補助】

C. NICT
3百万円

〔「情報バリアフリーの情報提供サイ
ト」の管理・運営〕

【企画競争】

D. アイ・ツールズ アンド
イーエクスプレイン(株)
2百万円

〔情報収集等調査の実施〕

【一般競争入札】

E. (株)ブレインワークス
0.5百万円

〔「情報バリアフリーのための情報提
供サイト」のHTML作成及びアクセ
シビリティ対応等更新作業〕

【随意契約(少額)】

F. フジサービス(株)
0.1百万円

〔助成事業パンフレットの印刷〕

A.NICT			E.(株)ブレインワークス		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
助成金	身体障害者向け通信・放送役務提供・開発推進助成金	63.6	人件費	HPの更新、修正作業	0.5
委員謝金	評価委員会委員謝金	1.3			
出張費	実地検査旅費	0.2			
計		65.1	計		0.5
B.NECシステムテクノロジー株式会社			F.フジサービス(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
外注・委託費	作業委託費	2.1	労務費	パンフレット印刷費	0.1
労務費	社員	7.4			
諸経費	消耗品費、諸経費	0.8			
計		10.3	計		0.1
C.NICT			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
外部請負費	情報収集等調査の実施	1.8			
外部請負費	「情報バリアフリーのための情報提供サイト」のHTML作成及びアクセシビリティ対応等更新作業	0.5			
出張費	説明会旅費	0.1			
印刷費	助成金パンフレット印刷	0.1			
計		2.5	計		0.0
D.アイ・ツールズ アンド イーエックスブレイン(株)			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	調査員	1.7			
その他	取材謝礼	0.1			
計		1.8	計		0.0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NICT	助成金の交付	65.1	補助	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NECシステムテクノロジー株式会社	聴覚障害者向け遠隔要約筆記支援サービス(リモートノートテイカー)の開発と提供	10.3	公募・補助	-
2	株式会社プラスヴォイス	聴覚障がい者の為の遠隔コミュニケーション支援サービスの役務提供	10.1	公募・補助	-
3	ワークスネット株式会社	インターネットの利用によるデータ入力、はがき印刷、スキャニング作業等の提供	9.8	公募・補助	-
4	株式会社アニモ	在宅向けSaaSによる失語症訓練支援サービスの開発および提供	9.5	公募・補助	-
5	株式会社ハローシステム	高齢者・障がい者のための生活支援システムの構築とサービスの提供	9.0	公募・補助	-
6	NPO法人メディア・アクセス・サポートセンター	インターネットを利用したDVD等の視聴覚障害者用字幕、手話、音声ガイドの提供	7.5	公募・補助	-
7	NPO法人シーエス障害者放送統一機構	聴覚障害者向けリアルタイム字幕配信役務の提供	7.5	公募・補助	-
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NICT	助成金の交付	3.0	補助	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アイ・ツールズ アンド イーエックスブレイン(株)	情報収集等調査の実施	1.8	企画競争	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ブレインワークス	「情報バリアフリーのための情報提供サイト」のHTML作成及びアクセシビリティ対応等更新作業	0.5	6	29.7%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	フジサービス(株)	助成事業パンフレットの印刷	0.1	随意契約 (少額)	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					